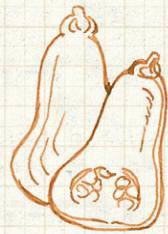


カボチャ「食べきりバターナッツ」



バターナッツには1玉3kgを優に超える大玉種もありますが、この品種は1kgくらいで収まり、家庭でも扱いやすい小型種です。草勢は比較的旺盛ですが着果はすこぶるよく、果実もよくそろいます。またうどん病に非常に強く、最後までつるが持ちます。

栽培ポイント

1 播種 早まきしないことが大事です。バターナッツは熱帯性のカボチャです。低温下では生育が滞り、本来の生育が損なわれます。温暖地（般地）では4月下旬の植え付けがおすすめです。この時期ですと温度は十分なので、直接「Yポット」や「バーゲンガーデン」などにまくのがよいでしょう。

2 定植 地温が確保できていれば完全な露地でよいですが、土壤の保水、雑草を抑えることを考えればマルチ栽培がよいでしょう。ポットまきでは20日育苗で本葉3~4枚が植えぎです。株間は80cm、あらかじめ施肥して肥料が土となじんだ敵に植えましょう。

3 整枝 基本的に放任栽培が可能ですが、周辺の作物、通路を考慮しつる先を一方向に向けて誘引するとその後の作業がしやすくなります。この場合、圃場で本葉4~5枚のころ、親づるを摘芯、子づる3本仕立てで放任するのがよいでしょう。第1節の子づるは絡まる場合があるので除去します。

4 交配 放任で栽培するため、雌花がどこに付くのか確認できず手交配は少々大変なので、ぜひミツバチなど自然の昆虫を利用しましょう。

5 収穫 通常の春まき作型であれば、着果後40日前後で果実は完熟します。放任栽培では着果日が分かりにくいので、果皮の色で判断します。肥大中は白っぽいですが、やや桃色がさした濃い肌色になれば収穫可能です。



栽培するにも、料理をするにも扱いやすい小型種



カボチャ 食べきりバターナッツ

暑さにめっぽう強く、生育旺盛なバターナッツです。小ぶりのため着果性も非常に高く、果実もよくそろいます。うどん病にも強く、つるがよく持ちます。
[ウリ科 | 平均果重: 300~800g]
25~30°C 株間 1~1.2m

| 栽培地 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| 温暖地 | | | | ● | ● | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 寒冷地 | | | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

収穫目安
開花後
35~40日

「食べきりバターナッツ」のおいしい食べ方

バターナッツは煮崩れしやすいので煮物に向きません。果肉の色のよさを生かした、スープやグリルなどにするのがおすすめ。1個でちょうど2人前の分量が目安です。



定番のポタージュスープ



未熟果は、漬物におすすめ



オープンでそのままグリルに。ハーブで香り付け

作型のマーク説明 ●● = まきどき ■■ = 定植期 ■ = 収穫期 ○○ = トンネル △△ = ホットキャップ

発芽に適する地温

■販売のタネはスプラウト（新芽野菜）用としては使用しないでください。

■収穫物は、環境条件・栽培状況で写真とは異なる場合があります。